

温室内の植栽変更について

(1) 大温室バナナ植栽地土壌入れ替え

永井親雄・柴田昌男

3年前より、バナナの偽茎が折れるなど生育不良がみられたので2003年10月上旬に、業務委託により古土を取り除き、土壌入れ替えを行った。

1 数量：面積は46.0㎡、深さ40cm床堀・敷均で合計18.4㎡になった。

培養土は、下表のように真砂土をベースにし、土壌改良剤、肥料を所定量散布してバックホーで3回混合した。

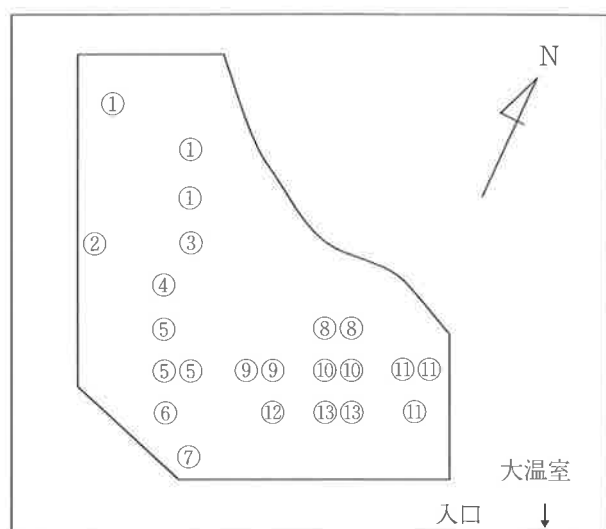
表1 培養土にした資材と数量

名 称	数 量
真砂土	1 2 . 8 8 m ³
パーク堆肥	5 . 5 2 m ³
牛糞堆肥	3 4 9 . 6 0 kg
苦土石灰	1 9 . 9 9 kg
カキガラ	1 9 . 9 9 kg
マグアンプK	3 9 . 9 9 kg
硫酸加里	1 9 . 9 9 kg

2 植栽位置図

① *Musa acuminata* ‘Hshangchao’
 タイワンバナナ ホクショウ

- ② *M. acuminata*
- ③ *M. acuminata* ‘Born’ ボーンバナナ
- ④ *Ensete sp*
- ⑤ *M. chiliocarpa* センナリバナナ
- ⑥ *Ensete glaucum* ショウトイバショウ
- ⑦ *M. textiles* マニラアサ
- ⑧ *M. sumatrena* トラフバショウ
- ⑨ *M. acuminata* ‘Sen-nin-sho’
 タイワンバナナ センニンショウ
- ⑩ *M. sapientum* フランバナナ
- ⑪ *M. acuminata* ‘Dwarf Cavendish’ サンジャクバナナ
- ⑫ *M. ×paradisica* ‘King’ キングバナナ
- ⑬ *M. paradisiacal* ‘Cham Baker’ モンキーバナナ



ψψ

(2) 食虫植物展示コーナーの移設

永井親雄・坂原治男

大温室内北側にあった食虫植物展示室を老朽化により解体し、2003年7月に熱帯スイレン温室内北側に移設した。展示主旨は、自生地風の植栽や解説パネル、模型や虫眼鏡での観察などとおし、食虫植物を理解してもらうことし、併せて大型模型で記念撮影をする遊びの要素も取り入れた。

1 溶岩の築山

鹿児島・桜島産の溶岩（40cm～20cm角大）で、中にプラスチック製心池を大小2個とヤマモモの枯木を据付け築造した。

展示は、枯木にウツボカズラの吊り鉢、心池にはサラ

セニア類、ハエトリソウ、岩間にはモウセンゴケ類、ムシトリスマレ類を植栽した。



写真1. 築山部